

令和2年度第2回理事会議事録

静岡県国民健康保険団体連合会

1 開催日時及び開催場所

令和3年2月19日（金）午前10時00分～午前11時33分
グランディエールブuketーカイ 4階「シンフォニー」
静岡市葵区紺屋町17-1

2 出席者の氏名

(1) 理事 5名

理事長	原田 英之（袋井市長）
理事	須藤 秀忠（富士宮市長） 若林 洋平（御殿場市長）
	永田 好一（静岡県建設産業国保組合理事長）
	佐古 伊康（しずおか健康長寿財団理事長）

(2) 監事 2名

会員	杉本 基久雄（牧之原市長）
会員外	畔村 勇次（公認会計士）

(3) 書面表決による出席者 7名

副理事長	田村 典彦（吉田町長）
常務理事	萩原 綾子（学識経験者）
理事	染谷 絹代（島田市長） 中野 弘道（焼津市長）
	小野 登志子（伊豆の国市長） 太田 長八（東伊豆町長）
	太田 康雄（森町長）

3 理事会の議事の経過及びその結果

(1) 理事会の成立

理事総数 12名のうち5名の本人出席及び7名の書面表決による出席があり、規約第30条に規定する定数に達したため、理事会は有効に開催された。

(2) 理事長挨拶

- ・コロナ禍によりオンライン化が進み、新たな日常生活への移行を急速に定着させる契機となるなど、今後もより一層進んでいくと思われる。
- ・昨年厚生労働省からワクチン接種にかかる医療機関等からの費用請求及び支払事務について、本会への協力依頼があった。
- ・単身赴任や県外大学に通学しているなど、やむを得ない事情等により所在地以外で接種を受けた場合、医療機関等は他市町に請求する必要がある、その支払事務を本会が市町の委託を受けて代行することとなる。
- ・本日は「財政基盤の強化及び組織体制の充実・強化に向けた経営戦略」、令和3年度の本会事業計画（案）及び予算編成（案）について御審議願いたい。

(3) 県健康福祉部健康局長挨拶

- ・国民健康保険及び介護保険等に係る円滑な事業運営に対する謝辞。
- ・昨年、緊急を要する事業として、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業の実施を依頼した。

- ・医療従事者への慰労金、医療機関が行う新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に対する申請受付、支払事務を実施した。
- ・今年の1月30日までに2万余りの対象施設のうち、8割以上の1万7千余から申請があり、約20万人が慰労金の交付決定を受けた。
- ・通常業務に加えての新たな業務として負担をかけたが、膨大な事務量を滞りなく実施していただき、御礼申し上げます。
- ・昨年10月改正国保法が施行され、今後は市町の行う保健事業の実施状況の分析評価に基づく支援など新たな業務が追加された。
- ・高度な知見やノウハウが必要とされる業務であり、国全体で国保連合会に対する期待の高さが込められていると認識している。県としてもより一層国保連合会と緊密に連携して市町の取り組みを支援していく。
- ・今後も各事業の円滑な運営に御尽力されてる皆様に敬意を表するとともに引き続き御支援御協力をお願いしたい。

国民健康保険課長挨拶

- ・国民健康保険は平成30年度から県も保険者となり、県の国民健康保険運営方針に基づき、市町、連合会と共に安定運営に尽力している。
- ・この運営方針は期間が3年間となっており、今年度は最終年度のため、市町と協議をし、2月に改定公表がされてホームページに掲載している。
- ・6月の補正予算により、新規事業として、市町の国保ヘルスアップ支援事業を行っている。
- ・来年度は国保連合会の茶っとうシステムの改修等を予定しているため、引き続き御支援、御協力をお願いしたい。
- ・介護保険については、国保連合会には地域包括ケアシステムの実業及び介護給付適正化の取り組みに多大な御理解と御協力をいただいている。
- ・来年度は次期介護保険事業支援計画及び市町の介護保険事業計画の初年度となり、縦覧点検、医療情報との突合、介護給付適正化担当者説明会の実施と計画の推進に御支援をお願いしたい。
- ・県の予算については、現在開会中の県議会で審議されており、3月17日に議決され、予算が確定する。
- ・今後とも市町並びに国保連合会と連携して取り組みたいと考えているので、御支援、御協力をお願いしたい。

(4) 議長選出及び議事録署名人選任

規約第28条の規定に基づき、原田理事長が議長となって議事を開始した。また、規約第31条の規定により、理事2名が議事録署名人に選任された。

(5) 議案及びその審議状況

①議案

・議決事項

- ・議案第1号 静岡県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払規則の一部を改正する規則
- ・議案第2号 令和2年度静岡県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業務特別会計歳入歳出補正予算（後期高齢者業務勘定第2次）
- ・議案第3号 財政基盤の強化及び組織体制の充実・強化に向けた経営戦略

- ・議案第4号 令和2年度静岡県国民健康保険団体連合会第2回通常総会提出議案
 - 1 令和2年度静岡県国民健康保険団体連合会障害者総合支援法関係業務等特別会計及び第三者行為損害賠償請求事務特別会計歳入歳出補正予算
 - 2 令和2年度静岡県国民健康保険団体連合会財政調整基金積立資産の処分
 - 3 令和2年度静岡県国民健康保険団体連合会ICT等を活用した審査支払業務等の高度化・効率化のための積立資産の処分
 - 4 令和3年度静岡県国民健康保険団体連合会事業計画
 - 5 令和3年度静岡県国民健康保険団体連合会一般会計ほか7特別会計歳入歳出予算
 - 6 令和3年度静岡県国民健康保険団体連合会事業運営資金積立金の処分
 - 7 令和3年度静岡県国民健康保険団体連合会減価償却引当資産の処分
 - 8 令和3年度静岡県国民健康保険団体連合会退職給付引当資産の処分
 - 9 令和3年度静岡県国民健康保険団体連合会財政調整基金積立資産の処分
 - 10 令和3年度静岡県国民健康保険団体連合会ICT等を活用した審査支払業務等の高度化・効率化のための積立資産の処分
- ・議案第5号 令和3年度静岡県国民健康保険団体連合会の負担金及び手数料の額
- ・議案第6号 令和2年度静岡県国民健康保険団体連合会第2回通常総会の開催

②審議状況

<議決事項>

- 議案第1号： ○別添議案書の議案第1号により、事務局から提案説明があり、特に質疑なく採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。
- 議案第2号： ○別添議案書の議案第2号により、事務局から提案説明があり、特に質疑なく採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。
- 議案第3号： ○別添議案書の議案第3号により、事務局から提案説明があった。
- (理事長)
- ・連合会が必要かつ市町等から信頼されるべき組織であるために、少し長期的な目で計画を立てて連合会を眺めてもらう意味で今回の経営戦略を立てていただいた。
 - ・この戦略を基に、時代の変化に沿った動きをより一層していかななくてはならないと思っている。
 - ・外部の目も必要なので、今回本会監事にも関わっていた

だいている。

(監事)

- ・連合会は手数料でサービスの提供をし、公的機関でありながら民間に非常に近い存在であるため、市町に満足してもらえるような仕事をしていかななくてはならないということが根底の考えにある。
- ・必要なのは経営管理・経営能力なので、今回は「資金」と「組織の強化」の2本柱で経営戦略を立てた。

(理事)

- ・国民・県民の健康と命を守るという点で連合会は絶対に必要な組織であり、その存続は我々の使命であると思う。
- ・職員の職場確保は各職員の家族を守ることであり、多くの人の生活を守ることにつながるため、このような経営戦略は今のうちにしっかりと築くべきだと思っている。
- ・ぜひ職員の皆さんには積極的にこの戦略を進めていただきたい。

(理事)

- ・国保連合会と長く付き合いしていく中で、必要不可欠なものに対する金銭面の限界やその限界を超えてしまう場合はどうするのかという問題が常につきまってきた。
- ・国と県はそれらを十分に考えて共に戦略を練らなければ、国保連合会だけでは行き詰ることになると思う。
- ・市町で個々に実施している時と比較して、県一体で対応することになった時にどのくらい無駄遣いがあるのか検証することが必要だと思う。

(理事)

- ・行政もそうだが、運営・経営という形でやっていかなければ組織は長生きできないと思う。
- ・今後は戦略としてはこの形でやっていくのだと思うが、例えば新型コロナの受診控えのような状況が出てきた時に、国も県もカバーできる体制をとっていただかないとなかなか難しいのかなというように感じる。
- ・経営戦略の内容については非常にありがたいと思っている。

(監事)

- ・これからの時代は人口減少と共に組合員も減少していくため、手数料も上がってくると思われる。
- ・今回の取り組みのようにIT化を進めていかに経費を削減するのかということ、経営という観点からしっかり将来を見据えて計画を立てることが必要だと思うので、こうした取り組みは重要だと思う。

(理事)

- ・我々の組織も同様に高齢化と会員の減少等で厳しい状態にある。
- ・大変な思いを今後もしていくことは確かなので、そのような意味合いで早め早めに専門家の方に検討してもら

い、事前にこのような形で戦略を出してもらうことは非常に良いことだと思う。

議案第4号：
(第4号-1から
第4号-5まで)

○その後採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。
○別添議案書の議案第4号-1から第4号の5により、事務局から提案説明があった。

(理事)

・景気に左右されて、他保険から国保に加入する人が増加すると予算案もかなり違ってくると思うが、年々どのような状況になっているのか。

(事務局)

・景気が悪くなると雇用主から解雇された人・職を失った人が国保に回ってくる。現在のコロナ禍においても無職になった人が国保に加入してきている状況である。

(理事)

・令和2年度・3年度の案の中にそういった状況は加味できるのか。

(事務局次長)

・令和3年度の見込みは令和元年度の実績を基にこれまでの伸び率を考慮し作成させていただいている。

・コロナの影響は加味していない。

(理事長)

・動向としては国保の対象者は減少傾向にあり、今年は失業者が増加するというで一時的に膨らんでいる状況である。

・ただやはり年齢層はだんだん細くなってきているので、むしろ大変なのは後期高齢者である。

・どれくらい失業者が増えどれくらい国保に加入してくるかは分析できないが、影響は確かにある。

○その後採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。

議案第4号：
(第4号-6から
第4号-10まで)

○別添議案書の議案第4号-6から第4号の10により、事務局から提案説明があり、特に質疑なく採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。

議案第5号：

○別添議案書の議案第5号により、事務局から提案説明があった。

(理事長)

・後期高齢者医療診療報酬審査支払手数料を3円上げることで、全体としていくら収入が増えるのか。3円で1億円増になるということなのか。

(事務局)

・3円で5,000万円増える予定になっている。

・残りの5,000万円は高齢化による件数増によるものである。

○その後採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。

議案第6号：

○別添議案書の議案第6号により、事務局から提案説明があり、特に質疑なく採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。

4 議長の氏名
原田 英之（理事長）

この議事録が正確であることを証するため、記名押印する。

令和3年2月19日

議 長
静岡県国民健康保険団体連合会 理事長
袋井市長 印

議事録署名人
富士宮市長 印

静岡県建設産業国民健康保険組合理事長
印